

校 報



は が

令和7年3月24日

No.110

柔らかな春の日差しを浴び、希望坂の桜のつぼみも少しずつふくらみはじめています。日に日に暖かさが増し、春の息吹が感じられるようになってきました。

令和6年度も、保護者の皆様・地域の皆様・学校関係者の皆様には、本校教育へのご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。

さて、本号は「卒業特集」として、卒業式の校長式辞の一部と卒業生の卒業にあたっての思い、見守り隊の皆さんへのお礼を掲載します。

祝卒業 卒業生のみなさんへ(式辞より)

校長 谷尻 博誉

本校第10回卒業生として巣立つ18名のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今、手にした卒業証書は、みなさんが6年間の教育課程で多くのことを学び、心も体も大きく成長した証です。また、みなさんの成長を願い、見守ってきたくださったご家族の大きな愛情、先生たちの頑張りや願い、そしていつも見守ってくださっている地域の方々の温かな心遣いが込められていきます。多くの方々に支えられて成長できたことを忘れず、感謝の心とともに卒業証書を大切にしてください。

この1年間のことを思い起こすと、みなさんとの思い出が次々と頭の中を駆け巡ります。

新入生歓迎遠足での優しい「笑顔」、運動会応援合戦で大きな声を出す「力強い姿」、学習発表会で一人一人が「平和への思いを語る姿」など、たくさんのかっこいい姿を見せてくれ



ました。また、毎日の学校生活においても、登校班の班長や縦割り班掃除のリーダーなど、卒業生のみなさんは、最高学年として、波賀小学校をリードする姿をたくさん見せてくれました。

この1年間、最高学年としての姿を見せ続けてくれてありがとう。最高学年のバトンは、5年生がしっかりと引き継いでくれます。

さて、卒業にあたり、みなさんに伝えたい言葉があります。それは、「凡事徹底」という言葉です。「凡事」とは「平凡で当たり前のこと」という意味です。「徹底」は「徹底的にやる」の「徹底」なので、「凡事徹底」とは、「平凡で当たり前のことを人が真似できないほど徹底して行う。」ということですが、「平凡で当たり前のこと」だけで考えると、誰にでもできることのように感じますが、それを「人が真似できないほど徹底して行う。」となると、継続性や自主性などの高い意識が必要になり、決して簡単なことではありません。

この「凡事徹底」を実行し、誰もが驚くような記録を次々と打ち立てたプロ野球選手がいます。それは、日本のプロ野球だけではなく大リーグでも大活躍をして、今年の1月に日本人初の大リーグ野球殿堂入りを果たしたイチロー選手です。

イチロー選手は、日米通算4367安打、大リーグ年間最多262安打など、大記録を打ち立てました。世界で一番多くのヒットを打った野球選手です。その偉業を成し遂げたイチロー選手の土台となっているのが「凡事徹底」です。

あるインタビューでイチロー選手が、「バッティングを極めるために、何かやってきたことはありませんか。」と質問されたときに、「何も特別なことはやっていませんが、高校生活の3年間、1日に10分ですが寝る前に必ず素振りをしました。この10分の素振りを3年間続けました。これが誰よりもやった練習です。」と答えたそうです。(実際には10分で終わ

ることはなく1時間、2時間と続くこともあったようです。)

1日に10分の素振りという誰にでもできることのように感じますが、3年間1000日以上、毎日素振りを続けることは、決して簡単に真似ができません。また、イチロー選手は、別のインタビューで、「僕は天才ではなかったから、毎日同じことを続けるしかなかった。」と話しています。これはまさに「凡事徹底」の考え方です。

どんなに優れた能力を持っていても、それを続けなければ成果にはつながりません。目標を達成したり、大きなことを成し遂げたりする前提として、平凡で小さな当たり前のことを続けることが必要です。つまり、日々の努力を続けることが最終的な結果や自分自身の成長につながっているということです。

いよいよ中学生となるみなさん、みなさんの中学校での「凡事」は何になると思いますか。2月の波賀中学校入学説明会で中学校の先生が、「何よりも勉強が中学生の本分です。」と話されました。やはり将来の進路に向けての勉強のことになるでしょう。それとも、楽しみにしている部活動のことでしょうか。

中学校生活の中の「平凡で当たり前のこと」でいいのです。まずは自分自身で「凡事」を考えてください。そして、中学生としての「凡事」を「徹底」して続けてみてください。「凡事徹底」することは、目標を達成することや成長につながっています。中学生となるみなさんのこれからの成長や活躍を願っています。

4月行事予定

- | | |
|---------|--------------------------|
| 4月4日(金) | 離任式 |
| 7日(月) | 着任式、入学式、始業式 |
| 11日(金) | 給食開始・PTA三役会 |
| 15日(火) | 交通安全教室 |
| 17日(木) | 全国学力学習状況調査(6年) |
| 18日(金) | PTA理事会・本部役員会 |
| 25日(金) | 参観授業・学級懇談・PTA総会(午前) |
| 28日(月) | 新入生歓迎遠足 |
| 30日(水) | 家庭訪問①(道谷・鹿伏・飯見・皆木・斉木・有賀) |
| 5月1日(木) | 家庭訪問②(上野・水谷・安賀) |
| 2日(金) | 家庭訪問③(日見谷・谷・小野・今市) |
| 12日(月) | 自然学校(5年)~16日(金) |

★見守り隊の皆さん
ありがとうございました★

今年度も多くの地域の方々や保護者の皆様に、「登下校見守り隊」として児童の登下校の安全にご尽力いただきました。ありがとうございました。令和7年度もどうかよろしくお願いいたします。

今まで、僕たちのために朝早く起きて見守ってくださいありがとうございました。一緒に歩いてくださりありがとうございました。本当にありがとうございました。(斉木・榎谷鳳之丞)



6年間毎朝、私たちのために朝早く起きて見守ってくださいありがとうございました。「おはよう」と元気な言ってもうと、私たちは元気をもらっていました。また中学生になっても出会うなら声をかけてください。6年間ありがとうございました。(斉木・榎谷優芽)

朝早く学校まで見送ってくださいありがとうございました。おかげで毎日安全に事故やケガなく登校することができました。元気な中学生になれそうです。6年間本当にありがとうございました。(斉木・丸井竜生)

いつも、公民館で見守ってくださいたり、公民館までの道のりを一緒に歩いて、話しかけてくださったりしてありがとうございました。おかげで、安全に登校できたし、楽しく元気よく登校することができました。本当にありがとうございました。これからは、見守りをお願いします。(谷・安室青音)

朝早くに集合場所まで僕たちを連れていってくださいありがとうございました。僕たちの安全を最優先にしてくださいありがとうございました。優しい気持ちでいっぱいの見守り隊のみなさん、これからも子どもたちの安全の見守りをお願いします。(谷・黒田 駿)

私たちとお話をしたり、見守ってくださいたりしてありがとうございました。いつもケガなく、安全に登校することができました。4月から私は、中学校へ行くので、これからも在校生をよろしく願います。6年間ありがとうございました。(有賀・勝部陽向)



6年間ありがとうございました。いつも朝早くから私たちの安全を考えて見守ってくださいたり、明るく「おはよう」「いってらっしゃい」など優しく声をかけたりしてくださいました。見守り隊の方々がいとも見守ってくださいのおかげで事故にもあわず、毎日元気に登校することができました。6年間ありがとうございました。これからも元気でいてください。(今市・榎谷市華)

